

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立静岡北特別支援学校 P T A <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	375人(令和3年5月1日現在)

1. 使用状況

寄贈物品名	屋外複合遊具
使用学年及び人数	小学部3年～6年 72人(令和3年5月1日現在)
使用頻度	週4回
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・週4回ある昼休みに小学部3～6年児童が使用しています。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、児童が密集しないように、状況に応じて使用学年を限定するなどの配慮をしながら活用しています。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・以前使用していた大型遊具が経年劣化で解体されてから、運動場には遊具がなかったため、多くの子どもたちが昼休みにこの遊具で遊ぶことを楽しみにしています。 ・階段、ネット、登り棒など複数の登り口があるので、個々の興味関心や実態に応じた様々な身体の動かし方(足を上げる、手で体を支えるなど)を経験することができています。 ・滑り台を順番で滑ったり、友達と並んで滑ったり、遊具の下を使ってかくれんぼをしたりと、簡単な約束を守って遊んだり、友達や教師と関わって遊んだりする様子が見られています。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も昼休み中心に遊ぶ中で、たくさん身体を動かし、身体を動かすことの楽しさを十分に味わってほしいと思います。 ・この遊具の付近に鉄棒や築山があるので、それらを組み入れて体育や生活単元学習の時間での活用も検討していけるとよいと考えています。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子

一見難しそうに思える登り棒が人気です。腕を伸ばし、しっかり棒を握って登ります。友達の動きを見て、自分が登るタイミングを見計らって動き出す児童の姿も見られます。



昼休みにグラウンドに出てくると、多くの子どもたちがこの複合遊具にまっしぐらに向かっています。

